

平成28年2月期（平成27年2月11日～平成28年2月10日）決算短信

平成28年3月23日

上場取引所

東証

ファンド名 NEXT FUNDS 日経・東商取白金指数連動型上場投信
 コード番号 (1682)
 連動対象指標 日経・東商取白金指数
 主要投資資産 社債券
 売買単位 100口
 管理会社 野村アセットマネジメント株式会社 URL <http://www.nomura-am.co.jp>
 代表者名 CEO兼執行役社長 渡邊 国夫
 問合せ先責任者 商品企画部長 渡部 昭裕 TEL (03)-3241-9511

有価証券報告書提出予定日 平成28年4月27日
 分配金支払開始日 -

I ファンドの運用状況

1. 平成28年2月期の運用状況（平成27年2月11日～平成28年2月10日）

(1)資産内訳 (百万円未満切捨て)

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 (負債控除後)		合計(純資産)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成28年2月期	0	-	365	(100)	365	(100)
平成27年2月期	0	-	504	(100)	504	(100)

(2)設定・解約実績 (千口未満切捨て)

	前計算期間末 発行済口数(①)	設定口数(②)	解約口数(③)	当計算期間末 発行済口数 (①+②-③)
	千口	千口	千口	千口
平成28年2月期	1,940	0	0	1,940
平成27年2月期	1,940	0	0	1,940

(3)基準価額

	総資産 (①)	負債 (②)	純資産 (③(①-②))	100口当り基準価額 (③/当計算期間末発行済口数) × 100
	百万円	百万円	百万円	円
平成28年2月期	366	1	365	18,844
平成27年2月期	506	1	504	26,019

(4)分配金

	100口当り分配金
	円
平成28年2月期	0.00
平成27年2月期	0.00

2. 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有 無
 ② ①以外の変更 有 無

II 財務諸表等

NEXT FUNDS 日経・東商取白金指数連動型上場投信

(1) 【貸借対照表】

(単位：円)

	第5期 (平成27年2月10日現在)	第6期 (平成28年2月10日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	64,148,882	31,541,504
派生商品評価勘定	2,472,500	1,185,500
現先取引勘定	330,013,200	240,168,720
未収利息	129	53
差入委託証拠金	109,523,980	93,757,540
流動資産合計	506,158,691	366,653,317
資産合計	506,158,691	366,653,317
負債の部		
流動負債		
未払受託者報酬	136,756	104,795
未払委託者報酬	1,093,999	838,307
その他未払費用	168,284	138,706
流動負債合計	1,399,039	1,081,808
負債合計	1,399,039	1,081,808
純資産の部		
元本等		
元本	500,520,000	500,520,000
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金(△)	4,239,652	△134,948,491
元本等合計	504,759,652	365,571,509
純資産合計	504,759,652	365,571,509
負債純資産合計	506,158,691	366,653,317

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第5期 自 平成26年2月11日 至 平成27年2月10日	第6期 自 平成27年2月11日 至 平成28年2月10日
営業収益		
受取利息	177,532	96,851
派生商品取引等損益	3,778,280	△137,053,440
営業収益合計	3,955,812	△136,956,589
営業費用		
受託者報酬	275,448	230,222
委託者報酬	2,203,471	1,841,631
その他費用	179,969	159,701
営業費用合計	2,658,888	2,231,554
営業利益又は営業損失(△)	1,296,924	△139,188,143

経常利益又は経常損失 (△)	1, 296, 924	△139, 188, 143
当期純利益又は当期純損失 (△)	1, 296, 924	△139, 188, 143
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額 (△)	-	-
期首剰余金又は期首欠損金 (△)	2, 942, 728	4, 239, 652
剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
分配金	-	-
期末剰余金又は期末欠損金 (△)	4, 239, 652	△134, 948, 491

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 運用資産の評価基準及び評価方法	先物取引 取引所の発表する計算日の清算値段を用いております。
2. 費用・収益の計上基準	派生商品取引等損益 約定日基準で計上しております。
3. 金融商品の時価等に関する事項の補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。 また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額または計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引の市場リスクの大きさを示すものではありません。
4. その他	現先取引 現先取引の会計処理については、「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成 20 年 3 月 10 日)の規定によっております。 計算期間 当ファンドの計算期間は、信託約款の規定により、平成 27 年 2 月 11 日から平成 28 年 2 月 10 日までとなっております。

(貸借対照表に関する注記)

第 5 期 平成 27 年 2 月 10 日現在	第 6 期 平成 28 年 2 月 10 日現在
1. 計算期間の末日における受益権の総数 1, 940, 000 口	1. 計算期間の末日における受益権の総数 1, 940, 000 口
2. 計算期間の末日における 1 単位当たりの純資産の額 1 口当たり純資産額 260.19 円 (100 口当たり純資産額) (26, 019 円)	2. 投資信託財産計算規則第 55 条の 6 第 1 項第 10 号に規定する額 元本の欠損 134, 948, 491 円 3. 計算期間の末日における 1 単位当たりの純資産の額 1 口当たり純資産額 188.44 円 (100 口当たり純資産額) (18, 844 円)

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

第 5 期 自 平成 26 年 2 月 11 日 至 平成 27 年 2 月 10 日	第 6 期 自 平成 27 年 2 月 11 日 至 平成 28 年 2 月 10 日																																																
1. 分配金の計算過程	1. 分配金の計算過程																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当期配当等収益額</td> <td>A</td> <td>177, 532 円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金</td> <td>B</td> <td>△9, 275, 472 円</td> </tr> <tr> <td>配当等収益合計額</td> <td>C=A+B</td> <td>△9, 097, 940 円</td> </tr> <tr> <td>経費</td> <td>D</td> <td>2, 658, 888 円</td> </tr> <tr> <td>収益分配可能額</td> <td>E=C-D</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金</td> <td>F</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>次期繰越金(分配準備積立金)</td> <td>G=E-F</td> <td>△11, 756, 828 円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			当期配当等収益額	A	177, 532 円	分配準備積立金	B	△9, 275, 472 円	配当等収益合計額	C=A+B	△9, 097, 940 円	経費	D	2, 658, 888 円	収益分配可能額	E=C-D	0 円	収益分配金	F	0 円	次期繰越金(分配準備積立金)	G=E-F	△11, 756, 828 円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当期配当等収益額</td> <td>A</td> <td>96, 851 円</td> </tr> <tr> <td>分配準備積立金</td> <td>B</td> <td>△11, 756, 828 円</td> </tr> <tr> <td>配当等収益合計額</td> <td>C=A+B</td> <td>△11, 659, 977 円</td> </tr> <tr> <td>経費</td> <td>D</td> <td>2, 231, 554 円</td> </tr> <tr> <td>収益分配可能額</td> <td>E=C-D</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>収益分配金</td> <td>F</td> <td>0 円</td> </tr> <tr> <td>次期繰越金(分配準備積立金)</td> <td>G=E-F</td> <td>△13, 891, 531 円</td> </tr> </tbody> </table>	項目			当期配当等収益額	A	96, 851 円	分配準備積立金	B	△11, 756, 828 円	配当等収益合計額	C=A+B	△11, 659, 977 円	経費	D	2, 231, 554 円	収益分配可能額	E=C-D	0 円	収益分配金	F	0 円	次期繰越金(分配準備積立金)	G=E-F	△13, 891, 531 円
項目																																																	
当期配当等収益額	A	177, 532 円																																															
分配準備積立金	B	△9, 275, 472 円																																															
配当等収益合計額	C=A+B	△9, 097, 940 円																																															
経費	D	2, 658, 888 円																																															
収益分配可能額	E=C-D	0 円																																															
収益分配金	F	0 円																																															
次期繰越金(分配準備積立金)	G=E-F	△11, 756, 828 円																																															
項目																																																	
当期配当等収益額	A	96, 851 円																																															
分配準備積立金	B	△11, 756, 828 円																																															
配当等収益合計額	C=A+B	△11, 659, 977 円																																															
経費	D	2, 231, 554 円																																															
収益分配可能額	E=C-D	0 円																																															
収益分配金	F	0 円																																															
次期繰越金(分配準備積立金)	G=E-F	△13, 891, 531 円																																															

口数	H	1,940,000 口	口数	H	1,940,000 口
100口当たり分配金	$I=F/H \times 100$	0 円	100口当たり分配金	$I=F/H \times 100$	0 円

(金融商品に関する注記)

(1) 金融商品の状況に関する事項

第5期 自 平成26年2月11日 至 平成27年2月10日	第6期 自 平成27年2月11日 至 平成28年2月10日
<p>1. 金融商品に対する取組方針</p> <p>当ファンドは、投資信託及び投資法人に関する法律第2条第4項に定める証券投資信託であり、信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対して投資として運用することを目的としております。</p> <p>2. 金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク</p> <p>当ファンドが保有する金融商品の種類は、デリバティブ取引、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であります。これらは、白金先物等取引の価格変動リスク、金利変動リスクなどの市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされております。</p> <p>当ファンドは、信託財産に属する資産の効率的な運用に資することを目的として、商品先物取引を行なっております。当該デリバティブ取引は、対象とする商品等に係る価格変動リスクを有しております。</p> <p>3. 金融商品に係るリスク管理体制</p> <p>委託会社においては、独立した投資リスク管理に関する委員会を設け、パフォーマンスの考査及び運用リスクの管理を行なっております。</p> <p>○市場リスクの管理</p> <p>市場リスクに関しては、資産配分等の状況を常時、分析・把握し、投資方針に沿っているか等の管理を行なっております。</p> <p>○信用リスクの管理</p> <p>信用リスクに関しては、発行体や取引先の財務状況等に関する情報収集・分析を常時、継続し、格付等の信用度に応じた組入制限等の管理を行なっております。</p> <p>○流動性リスクの管理</p> <p>流動性リスクに関しては、必要に応じて市場流動性の状況を把握し、取引量や組入比率等の管理を行なっております。</p>	<p>1. 金融商品に対する取組方針</p> <p>同左</p> <p>2. 金融商品の内容及びその金融商品に係るリスク</p> <p>同左</p> <p>3. 金融商品に係るリスク管理体制</p> <p>同左</p>

(2) 金融商品の時価等に関する事項

第5期 平成27年2月10日現在	第6期 平成28年2月10日現在
<p>1. 貸借対照表計上額、時価及び差額</p> <p>貸借対照表上の金融商品は原則としてすべて時価で評価しているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。</p> <p>2. 時価の算定方法</p> <p>派生商品評価勘定</p> <p>デリバティブ取引については、(その他の注記)の3デリバティブ取引関係に記載しております。</p> <p>コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務</p> <p>これらの科目は短期間で決済されるため、帳簿価額は時価と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。</p>	<p>1. 貸借対照表計上額、時価及び差額</p> <p>同左</p> <p>2. 時価の算定方法</p> <p>同左</p>

(関連当事者との取引に関する注記)

第5期 自 平成26年2月11日 至 平成27年2月10日	第6期 自 平成27年2月11日 至 平成28年2月10日
市場価格その他当該取引に係る公正な価格を勘案して、一般の取引条件と異なる関連当事者との取引は行なわれていないため、該当事項はございません。	同左

(その他の注記)

1 元本の移動

第5期 自平成26年2月11日 至平成27年2月10日		第6期 自平成27年2月11日 至平成28年2月10日	
期首元本額	500,520,000円	期首元本額	500,520,000円
期中追加設定元本額	0円	期中追加設定元本額	0円
期中一部解約元本額	0円	期中一部解約元本額	0円

2 有価証券関係

該当事項はありません。

3 デリバティブ取引関係

デリバティブ取引の契約額等、時価及び評価損益

種類	第5期(平成27年2月10日現在)				第6期(平成28年2月10日現在)			
	契約額等(円)		時価(円)	評価損益(円)	契約額等(円)		時価(円)	評価損益(円)
		うち1年超				うち1年超		
市場取引								
商品先物取引								
買建	502,777,500	—	505,250,000	2,472,500	364,112,500	—	365,298,000	1,185,500
合計	502,777,500	—	505,250,000	2,472,500	364,112,500	—	365,298,000	1,185,500

(注) 時価の算定方法

1 先物取引

国内先物取引について

先物の評価においては、取引所の発表する計算日の清算値段を用いております。

※上記取引でヘッジ会計が適用されているものはございません。

(4) 【附属明細表】

第1 有価証券明細表

(1) 株式(平成28年2月10日現在)

該当事項はありません。

(2) 株式以外の有価証券(平成28年2月10日現在)

該当事項はありません。

第2 デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

財務諸表における注記事項として記載しているため省略しております。